

平成28年度

「ネットワーク社会におけるメディアとヒューマンコミュニケーション」

第20回
視聴覚教育総合全国大会

第67回
放送教育研究会全国大会

合同大会

体感!!

アクティブ・ラーニングに向けた
ICT活用のツボ!

1日目 11/18(金) 各会場校 国立オリンピック記念青少年総合センター

13:00

13:30

(16:30)

受付	公開保育 公開授業	研究交流
	研究交流(生涯学習)	

2日目 11/19(土) 国立オリンピック記念青少年総合センター

9:00

9:30

11:30

12:30

13:30

13:45

16:15

17:00

受付	ワークショップ 研究交流(一般・OB)	昼食	全体会	実践発表	視聴覚教材・ 教具 展示研究
視聴覚教材・教具展示研究					

期日:平成28年11月18日(金)・19日(土)

- ◎会場 板橋区立向台保育園(会場は板橋区立中台中学校)
杉並区立高井戸第四小学校 杉並区立天沼小学校
杉並区立高円寺中学校 板橋区立中台中学校
国立オリンピック記念青少年総合センター(渋谷区)
- ◎主催 全国放送教育研究会連盟 NHK
視聴覚教育総合全国大会連絡協議会
日本学校視聴覚教育連盟 全国高等学校メディア教育研究協議会 全国視聴覚教育連盟
一般財団法人日本視聴覚教育協会
- ◎共催 NHKサービスセンター
- ◎後援 内閣府 総務省 文部科学省 厚生労働省 東京都教育委員会 杉並区教育委員会
板橋区教育委員会 日本教育メディア学会 日本教育工学会 日本教育工学協会
日本視聴覚教具連合会 (公社)映像文化製作者連盟(一部申請中)

公開保育・公開授業 1日目【11/18(金)】 各会場校

板橋区立^{むかいだい}向台保育園 (会場は板橋区立中台中学校) 公開保育 13:30~14:10

●園紹介

園長 小野寺 千鶴子

保育目標 楽しく遊ぶ子

・元気に遊べる子 ・いろいろな体験を通して創造したりできる子 ・人の話を聞いたり自分の気持ちや思ったことを言葉で言える子 ・自分で考えて行動する子 ・思いやりのある子

緑が多く、静かな住宅街にある、1歳児から5歳児まで44名の保育園です。同じ年齢のお友達だけでなく、他の年齢のお友達とも自然な交流があり、大きい子は小さい子に優しく接したり、小さい子は大きい子にたくさん刺激をもらったりしながら生活や遊びが広がっていく姿が見られます。職員全員が一人ひとりの発達に合わせて援助し、のびのびと自分の力を発揮できるように応援します。

組 (歳児)	「活用番組名」	保育者名
5歳	NHK for School 『で〜きた』	小野寺 千鶴子

◇公開保育後の取り組み

◇意見交流 14:20~15:20 講師:鳩山 多加子(文京学院大学)

番組制作者の方の話や参加の皆様方との意見交換を通して、幼児期の放送を活用した保育の展開や番組活用方法・番組内容のとらえ方などについて考えを深めたり広げたりしていきたいと思っております。幼児教育関係者以外の方々もふるってご参加ください。

杉並区立^{たかいどだいし}高井戸第四小学校

公開授業 13:40~14:25

●学校紹介

校長 細川 猛彦

当校は、杉並区の西方に位置し、JR中央線の駅前商店街とその周囲の住宅街を学区としてしています。全校11学級の規模を生かし、年間を通じたたてわり班活動などにより、異学年交流が盛んです。また、体幹を鍛える「伸び伸び体操」を週3回実施し、姿勢や集中力の向上に努めています。昨年度、言語と情緒の通級指導学級を設置し、誰にも優しい教育を推進しています。ICT機器は杉並区内の区立小学校の標準的な仕様で、教員は日常の授業で力まずに活用することを心がけています。教育活動に加えて、囲碁将棋クラブや放課後子供居場所事業、学校支援地域本部などの活動が盛んです。保護者・地域の方々の協力を得て、保護者と地域と学校の三者が連携して子供たちの成長につながる取組を行っています。

学年	教科	単元名・ねらい	活用番組名・活用ICT機器など	授業者
1年	生活科	たのしいね あきのあそび	電子黒板・書画カメラ	宇賀神 政裕
2年	特別活動	展示会はどうだった?	電子黒板・書画カメラ・デジタルカメラ	吉田 司
3年	国語	修飾語	電子黒板・デジタル教科書	簗輪 幸一 (台東区立平成小学校)
4年	理科	季節と生き物(秋)	電子黒板・タブレット端末	近藤 志津世 丸尾 扶代
5年	社会	自動車をつくる工業	NHK for School 『未来広告ジャパン!』	黒谷 亮
6年	総合	情報モラル マイルールを作ろう	電子黒板・PC	鶴川 孝之 (大田区立大森第一小学校)

◇公開授業後の取り組み

◇意見交流 14:40~15:20

◇講演 15:25~16:30 講師:堀田 龍也(東北大学大学院)

● 学校紹介

校長 福田 晴一

杉並区初の統合校として、平成20年に新設されました。エコスクールに代表される斬新な校舎と、国が進める学校運営協議会と学校支援本部が機能し、次世代を見据えた教育活動が展開されています。地域立学校としての活動を推進し、PTA活動、キャリア教育、学校支援本部等で文部科学大臣表彰を受けました。「インクルーシブな次世代を〜『ほんもの』体験を通して〜」をコンセプトに、時代が変わろうと脈々と受け継がれる学校教育活動である「不易」と、時代のニーズに呼応した教育活動の「進化」をあわせ、次世代を見据えた教育課程を編成しています。昨年度、東京都放送教育研究大会を開催し、今大会に臨みます。

学年	教科	単元名・ねらい	活用番組名・活用ICT機器など	授業者
1年1組	生活科	家の仕事にチャレンジ (表現)	デジタルカメラ・電子黒板	諏訪 晶子
1年2組	特別活動	「なかまにいて」 (思考・判断)	NHK for School『で〜きた』	向井 亮介
1年3組	国語	書き順に気をつけて漢字を書こう (思考)	デジタル教科書・電子黒板	宮崎 栞恋
1年4組	道徳	友達と仲良く助け合う 「くいしんぼうとおかしの家」 (思考・判断)	NHK for School 『新・ざわざわ森のがんこちゃん』	伊藤 優太
2年1組	音楽	いろいろな音を楽しもう (表現)	デジタル教科書・電子黒板	折笠 悦子
2年2組	算数	かけ算九九づくり (思考・判断)	電子黒板・デジタル教科書	福田しのぶ
2年3組	算数	「かけ算じょうずにつかえる？」 (思考)	NHK for School『さんすう犬ワン』	大中 奨
3年1組	理科	太陽の動きと地面のようすをしらべよう (判断)	タブレット端末・情報統合ソフト	城鼻 悠
3年2組	理科	「ものの重さ」 (思考・判断)	NHK for School 『ふしぎがいっぱい 3年生』	篠遠 利枝
3年3組	体育(保健)	毎日の生活と健康 (思考・判断)	電子黒板・タブレット端末	芹澤 孝太
4年1組	音楽	日本の音楽に親しもう (判断)	タブレット端末	藤山 和可
4年2組	理科	もののあたたまり方 (思考・判断)	タブレット端末	藤原 和也
4年3組	国語	クラブ活動リーフレットを作ろう (表現)	NHK for School『お伝と伝じろう』	中村 清香
5年1組	国語	天気を予想する (思考・判断)	タブレット端末・デジタル教科書	村中 裕佳
5年2組	国語	漢字の読み方と使い方 (思考)	タブレット端末・デジタル教科書	平林 靖規
5年3組	道徳	「おくれてきた客」 (思考・判断)	NHK for School『ココロ部!』	山口 悠介
6年1組	算数	「犯人の身長をつきとめろ」(習熟度別指導) (思考・表現)	NHK for School『さんすう刑事ゼロ』	川島 結香 山内 江美
6年2組	総合	情報モラルを考える (思考・判断)	電子黒板	川嶋 大典
6年3組	総合	プログラミングを学ぼう (思考)	タブレット端末・情報統合ソフト	佐藤 隆太
特別支援学級 こだま	生活単元	コミュニケーションスキルを育てる 「相手に合わせる魔法」 (表現)	NHK for School『スマイル!』	中村 祐子 権藤 千嘉 川口 玲奈 岩下 幸広

◇公開授業後の取り組み

- ◇研究発表 14:35~15:00 天沼小でのICTツールの利活用
- ◇パネルディスカッション 15:05~16:30 テーマ「次世代の教育を支えるICT等の展望」
講師:堀田 博史(園田学園女子大学) 中川 一史(放送大学)
坂井 岳志(世田谷区立八幡小学校) 利根川 裕太((一社)みんなのコード)

●学校紹介

校長 橋本 剛

高円寺のまちなかの学校として、一人ひとりの学びを大切にする、生徒が主体のわくわくスクールを目指しています。区内で最も小さな中学校ですが、生徒、職員、保護者そして地域の方々と共に様々な活動に取り組んでいます。ICTの機器としては杉並区の標準的な仕様の学校です。平成31年に施設一体型の小中一貫教育校として開校することを目指し、2つの小学校とともに準備を進めている最中です。

学年	教科	単元名・ねらい	活用番組名・活用ICT機器など	授業者
1年	数学	関数(習熟度別指導)	電子黒板・書画カメラ・デジタル教科書等	守屋 彰文・小松 美智子
2年	総合	職場体験発表会	プレゼンテーションソフト	高山 博子・山本 貴也
2年	特別活動	すぎなみ小中学生未来サミットを受けて	サミット当日の映像等	今村 吾朗・片山 慶信
3年A組	理科	科学の考え方を学ぼう	NHK for School『考えるカラス』	齋藤 祐子・塩塚 愛子
3年B組	美術	鑑賞	学習支援アプリをPC室にて活用	篠塚 希衣子・ICT支援員

◇公開授業後の取り組み

- ◇研究協議 14:30~15:00
- ◇講演 15:10~16:30 講師:後藤 泰博(東京福祉大学)

●学校紹介

校長 北村 康子

教育目標 自主 責任 協調 **校訓** よく考えて判断し、責任ある行動のもとに互いにはげましあって心と体をきたえよう。
 本校は、板橋区のほぼ中央に位置し、風の流れる緑の丘の上に位置しています。静かで落ち着いた学習環境に恵まれ、今年度から、学力向上を目指し教科センター方式の新校舎での学習が始まりました。地域や保護者と共に、生徒の健やかな心身の成長を願い、生徒の一人ひとりの意欲・向上心を育て、よさを認め励ます教育活動を、全教職員が心一つに取り組んでいます。

学年	教科	単元名・ねらい	活用番組名・活用ICT機器など	授業者
1年A組	音楽	混声三部合唱:曲想を豊かに	NHK 全国学校音楽コンクール タブレット端末	大西 俊輔
1年B組 1年E組	数学	比例と反比例の活用	デジタル教科書・タブレット端末・電子黒板	山岸 茂 櫛山 明香 村上 洋輔
1年C組	国語	流れを踏まえて話し合う	NHK for School『ロンのちから』 タブレット端末・電子黒板	木下 千津子
1年D組	理科	身のまわりの現象	NHK for School『考えるカラス』 タブレット端末・電子黒板	松浦 洋 吉田 峻吾
2年A組	社会	大都市圏のまわりの地域の様子	NHK for School『10min. ボックス 地理』 タブレット端末・電子黒板	佐藤 隆久
2年B組 2年C組	保健体育	球技:バスケットボール 球技:バレーボール	タブレット端末	吉山 孝盛 西巻 茜
3年A組	技術	マルチメディアと情報	NHK for School『10min. ボックス テイクテック』 デジタル教科書・タブレット端末・電子黒板	松本 幸広
3年B組	英語	日本文化を紹介しよう	Eテレ『エイエイGO!』 タブレット端末・電子黒板	爪 理香 西畑 遥
3年C組	理科	微生物の生体	NHK for School『マイクロワールド』 タブレット端末・電子黒板	関根 奈美江

◇公開授業後の取り組み

- ◇教科分科会 研究協議 14:40~15:20 半原 芳子(福井大学) 岸 磨貴子(明治大学)
- ◇研究実践報告・シンポジウム 15:30~16:40 テーマ「生徒の主体的な学びを重視した授業の工夫・改善」
 登壇者:吉崎 静夫(日本女子大学) 木原 俊行(大阪教育大学) 栗原 健(板橋区教育委員会)
 北村 康子(板橋区立中台中学校)

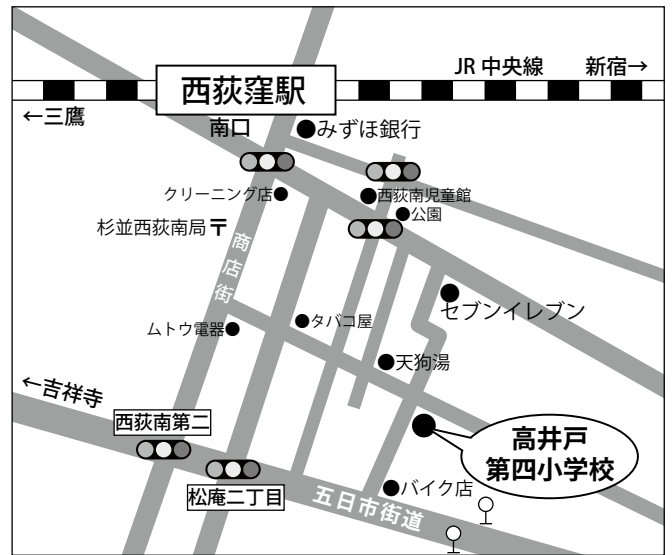
研究交流(生涯学習) 1日目【11/18(金)】 国立オリンピック記念青少年総合センター 13:30~16:00

テーマ	内 容	登 壇 者
地域の映像コンテンツのデジタル化促進と課題 センター棟 513	ICT環境の整備に伴い、地域映像の利用を一層進めるため、映像コンテンツのデジタル化の促進をめぐる課題等について研究協議を行う。	司会者: 照井 始(東京情報大学) コーディネーター: 丸山 裕輔(新潟県五泉市立五泉小学校) 発表者: 竹下 輝(千葉県総合教育センター) 発表者: 高橋 敏幸(茨城県阿見町立阿見小学校) 発表者: 吉岡 栄作(高知県教育委員会生涯学習課) 助言者: 吉田 広毅(常葉学園大学) 記録者: 伊東 宏隆(栃木県総合教育センター)

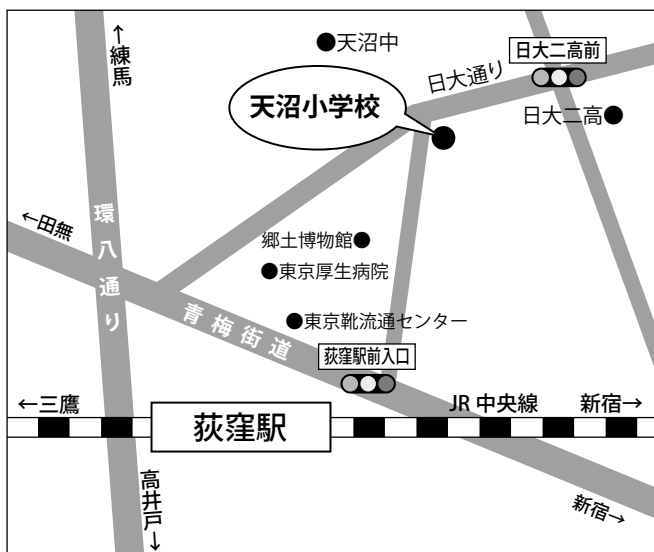
各会場へのアクセス



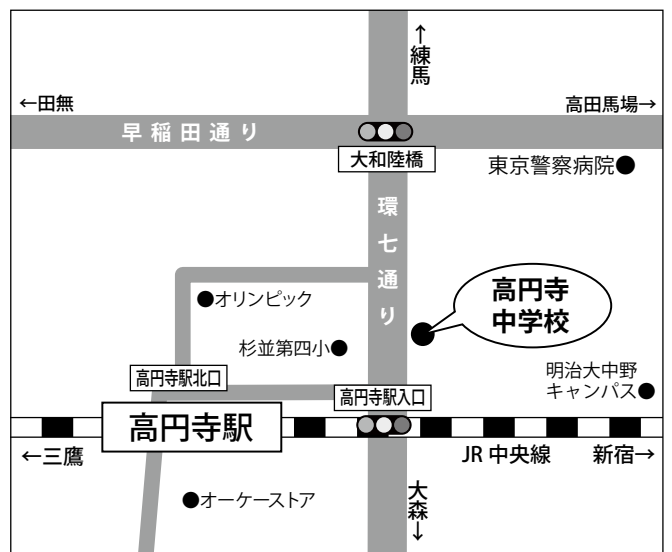
〒174-0064 東京都板橋区中台 1-56-23 TEL.03-3932-6357
東武東上線「上板橋」駅から徒歩 15 分



〒167-0053 東京都杉並区西荻南 1-8-16 TEL.03-3333-7828
JR中央線「西荻窪」駅から徒歩 10 分



〒167-0032 東京都杉並区天沼 2-46-3 TEL.03-3392-6428
JR中央線/東京メトロ丸ノ内線「荻窪」駅から徒歩 12 分



〒166-0002 東京都杉並区高円寺北 1-4-11 TEL.03-3389-1581
JR中央線「高円寺」駅から徒歩 10 分

ワークショップ・研究交流 2日目【11/19(土)】

国立オリンピック記念青少年総合センター 9:30～11:30

アクティブ・ラーニングに向けて、「協働学習」「思考ツール」「情報活用能力の育成」「情報モラル」「タブレット端末の活用」「番組・動画クリップ活用」「放送番組やタブレット端末を活用した保育」「プログラミング学習」「ICT活用指導力向上」等をテーマにワークショップを行います。

No.	テーマ	内 容	指導講師
1	「深い学び」をつくる メディアの活用 <small>センター棟 309</small>	子どもたちが探究し、深い学びに到達するには、豊かな情報と思考を働かせる課題設定がポイントとなります。ワークショップでは、小学校社会科を題材に、複数の動画クリップから得た情報を組み合わせ、協働しながら整理する活動に取り組みます。さらに、動画クリップから伝えたいシーンを抜き出し、伝達する材料として活用する方法を学びます。	稲垣 忠 (東北学院大学)
2	メディア・リテラシーを育む 授業づくり <small>センター棟 310</small>	メディア・リテラシーは、現代社会を生き抜く能力として求められるだけでなく、深い学び・対話的な学び・主体的な学びの過程を実現させるために不可欠な能力です。そこで、メディア・リテラシーを育む授業を実践するために『メディアのめ』を活用した授業づくりのポイントについて考えるワークショップを行います。タブレット端末の有効活用も含め、伝えたい・調べたい・学びたい気持ちを大切に授業について考えましょう。	中橋 雄 (武蔵大学)
3	主体的・協働的な学びを考える ～放送番組×タブレット端末 ×アクティブ・ラーニングでの 授業づくり～ <small>センター棟 311</small>	「放送番組×タブレット端末×アクティブ・ラーニング」をキーワードに、楠本誠教諭(三重県・松阪市立三雲中学校)による『10min. ボックス理科』を活用した中学校理科の模擬授業を通して、グループ1台のタブレット端末を活用した主体的・協働的な学びを考えます。その後、同じ内容でタブレット端末を活用しない場合の主体的・協働的な学びとは……を議論するなど、参加者と一緒に授業づくりの様々な可能性について探究します。	堀田 博史 (園田学園女子大学)
4	プログラミング学習を 指導するための研修 <small>カルチャー棟 小ホール</small>	2020年度から小学校でも必修化が検討されているプログラミング学習について、どのように教えればよいのか、不安に感じている先生もいらっしゃると思います。このワークショップでは、世界中で使われているScratchという言語を使って実際に体験します。マウス操作だけでできるので、プログラミングが初めてという方でも大丈夫です。	阿部 和広 (青山学院大学)
5	「調べる・まとめる・伝える」 チカラを高める ～NHK for Schoolを 活用した授業づくり～ <small>センター棟 501</small>	資質・能力を育む根幹ともなるものは「調べる・まとめる・伝える」といった「情報活用スキル」です。その力をどのようにして高めればよいのかを、本講座では、新番組『しまった!～情報活用スキルアップ～』や番組のデジタルコンテンツを効果的に活用し、子どもたちの実態に応じた「情報活用スキル」を育む指導法をワークショップ形式で見出します。こうした視点が、効果的なタブレット活用にもつながります。	高橋 純 (東京学芸大学)
6	保育現場におけるメディア 活用の可能性 ～放送番組とタブレット端末 を活用した保育を探る～ <small>センター棟 304</small>	幼稚園・保育所など、保育現場でのタブレット端末を活用した保育の可能性について、参会者とともに考えていくワークショップです。幼児向け放送番組『ミミクリーズ』の視聴と、子どもの興味や関心を高めるために番組が開発したアプリを使い、保育を体験します。テレビやタブレット端末が、幼児の屋内外での多様な活動や、保育者の子どもに対する援助をどう支えることができるのかを視点に、保育を支援する放送番組やタブレット端末の活用方法を探ります。	松山 由美子 (四天王寺大学短期大学部)
7	教員のICT活用指導力 向上のための研修 <small>センター棟 513</small>	教育改革を踏まえた教育の情報化について認識を深めていただくとともに、教員のICT活用指導力向上をめざした「校内研修リーダーの養成のための研修」を一部体験していただきます。その中では、ICTを活用した学習場面をいくつか具体的に示しながら、視聴覚教材の在り方や教員に必要なICT活用指導力について検討するとともに、実際の研修計画の作成を行い、学校教育におけるこれからの情報化について考えます。	下村 昌弘 (文部科学省生涯学習政策局 情報教育課)
8	心をつなぐコミュニケーション ～「話す力」「きく力」～ (一般・OB対象) <small>センター棟 101</small>	コミュニケーションとは「話し手」と「聞き手」とが、お互いの持つ考え方や感じ方を伝え合うことによって、理解と共感を得る行為です。この「話す」「きく」という、二つのコミュニケーションに欠かせない力を身につけるための留意点やそのノウハウについてお話しします。	風見 雅章 (元NHKアナウンサー)

全体会 2日目【11/19(土)】 国立オリンピック記念青少年総合センター 小ホール 12:30～13:30

■開会行事

(12:30～13:00)

- 主催者挨拶 来賓祝辞 各団体功労者紹介

■NHKプレゼンテーション

(13:00～13:15)

番組制作者より、NHK for Schoolの内容と制作コンセプト、教育活用におけるポイント等について紹介します。

■大会について(講師講評)

(13:15～13:30)

堀田 博史(園田学園女子大学) 指導講師が講評と「実践発表」のみどころを紹介します。

実践発表 2日目【11/19(土)】 国立オリンピック記念青少年総合センター 13:45～16:15

下記テーマで実践発表を行います。各分科会、3名の発表者が実践を発表し、参会者、講師と共にその効果と課題を検討します。

	テーマ	講師	発表者	内容
1	動画教材をフル活用したアクティブ・ラーニング ～思考力・判断力・表現力の育成～ センター棟 311	堀田 博史 (園田学園女子大学)	浅村 芳枝 (山口県下松市立久保小学校)	『カテイカ』の番組や動画クリップを活用した協働学習によって、課題の解決方法を考えたり、考えた解決策を用いて実践したりする力を育成することができると考え、その活用の在り方を模索した。すると、思考・判断・表現力を育成するための効果的な活用方法が見えてきた。
			宮崎 誠 (川崎市立平間小学校)	『カガクノミカタ』を活用して昆虫のからだを造形的に表現する活動に取り組んだ。お互いのイメージや既習事項を伝え合いながら粘土と針金を使って「作ってみる」とことや、クリップで「調べる」ことで、昆虫のからだのつくりに対する理解を深めることができた。
			山田 美紀 (東京都千代田区立番町小学校)	『未来広告ジャパン!』の番組や動画クリップで、日本の産業への関心が高まり、主体的な課題解決の姿が期待できると考えた。番組やWebサイトの豊富な情報に加え、日常生活の中では見ることのできない映像が子どもたちの心を揺さぶり、学習内容の理解に繋がった。
2	タブレット端末を活用した「わかる・できる」授業 ～個の学びが見える授業の創造～ センター棟 310	今野 貴之 (明星大学)	菊地 寛 (浜松市立三ヶ日西小学校)	『ふしぎがいっぱい 5年生』の番組や動画クリップと、メダカの飼育や観察といった実体験を組み合わせ、グループでの問題解決学習を行った。実体験と動画クリップを往復させることで、魚の誕生に対する科学的理解を深めることができた。
			石田 年保 (愛媛県松山市立椿小学校)	『はりきり体育ノ介』の番組とタブレット端末を組み合わせ「ロンダート」の実践を行った。番組の映像から技の動きやタイミングをより感覚的につかみ取るように、スポーツノマド本などを取り入れ視聴方法を工夫した。さらに、タブレットに子どもの映像を蓄積し、自己の成長を実感させた。
			山口 眞希 (石川県金沢市立大徳小学校)	『昔話法廷』等を活用して、話し合いの学習を行った。番組の中で、自分の主張の裏付けとなるシーンをタブレット端末でキャプチャーしながら視聴した。キャプチャー画面を提示しながら話し合うことで、根拠を明確にすることの大切さに気づくことができた。
3	情報と仲良く付き合う、正しく向き合う ～情報教育・情報モラル教育の最新事例～ センター棟 417	中橋 雄 (武蔵大学)	楠本 誠 (三重県松阪市立三雲中学校)	『しまった!』等の視聴を通して、情報活用スキルの育成を目指した。また、中学校理科における実験、観察の結果考察時に、生徒自ら、情報スキルを活用する場を設定した。その結果、情報活用のスキルが定着、向上し、学びを深めることができた。
			井上 昇 (千葉県柏市立大津ヶ丘第一小学校)	『スマホ・リアル・ストーリー』を活用して、スマホの正しい使い方を考えた。学校と家庭が連携した学習を取り入れ、スマホの危険な場面の疑似体験、スマホユーザーへのインタビュー等を通してルール作りを行い、安全なスマホの使い方に対する理解を深めた。
			佐藤 和紀 (東京都杉並区立高井戸東小学校)	『メディアのめ』を活用して、図工と国語においてクリエイティブアニメーションの作成を通じたメディア・リテラシーの学習を実践した。図工では、クリエイティブアニメーションの表現をより豊かに表現するために、そして国語では、音声やBGMによって表現の印象が変わることを理解するために、番組を活用した。
4	授業のユニバーサルデザインを考える ～すべての子が楽しく学び合い『わかる・できる』授業をデザインする～ センター棟 101	高橋 純 (東京学芸大学)	福山 里加 (川崎市立西有馬小学校)	『おはなしのくに』は物語や昔話の世界をプロの語りや映像で分かりやすく伝える番組である。国語の「読むこと」をねらいとした授業で活用することで、クラスのすべての子どもが読み物のよさを味わい、想像を広げて読む力や楽しんで読む態度を身につけることにつながった。
			宮城 涉 (沖縄県北谷町立北谷中学校)	『ロリのちから』の視聴を通して、大学・社会人になっても求められる論理的思考力を育てる。今回は、数学において「2次方程式」や「 $y = ax$ 」を学習する場面で取り上げ、「問題を整理すること」や「既習事項と結びつける」ことで、「数学的思考力」の育成につながった。
			岩下 幸広 (東京都杉並区立天沼小学校)	特別支援学級で『スマイル!』を継続視聴し、登場人物の対人関係のつまずきに注目して、日常の行動を振り返る場を設定した。友達への声のかけ方、場面に応じた声の大きさや話す時の距離に留意して児童のコミュニケーションスキルを向上させ、他者との関係の円滑化を図ることができた。
5	「考える道徳」「いじめ防止」に向けて ～健やかで豊かな心を育む～ センター棟 309	島田 希 (大阪市立大学大学院)	堀川 紘子 (京都市立藤城小学校)	『いじめをノックアウト』を視聴することで様々な「いじめ」の事実ふれ「共感」を深めた。「いじめ」を自分自身の問題と捉え、主体的に向き合うことを目指して、友達とのよりよい関係作りについて実践的に考え行動しようとする心情を培うことを目指した。
			伊藤 瞳 (北海道旭川市立東光小学校)	『時々迷々』の主人公が葛藤する場面を手がかりとし、子ども同士が対話することで「価値」にせまる考えを深め合った。また、展開後段では自己の行動を振り返る場を設定し、これからの生き方を考えさせることで道徳的判断力の育成を目指した。
			天田 和男 (山口県美祿市立淳美小学校)	『オン・マイ・ウェイ!』で、登場人物の言動について共感・分析することで、多面的な思考を促し道徳的価値と自己についての理解を深めた。さらに『ココロ部!』では、道徳的価値を揺さぶり、葛藤場面の判断について多角的に考え議論した。二つの番組を関連付け、道徳実践力を育成することを目指した。
6	幼稚園・保育所、小学校低学年での効果的なメディア活用術 ～子どものイメージを広げ、情操を育てる～ センター棟 501	松山 由美子 (四天王寺大学短期大学部)	中傳 翔子 (奈良県桜井市立桜井南幼稚園)	『ミニクリーズ』の番組を活用することで、子どもたちが日々の生活の中で「なぜだろう?」という疑問をもち、友達と共に観察したり想像したりすることを楽しく考えた。実践を積み重ねる中で身近な環境への興味や関心が高まり、友達と思いや考えを伝え合って楽しむ経験をもてた。
			淡野 伶奈 (東京都文京区たんぽぽ保育園)	『お話でてい』のラジオ聴取を通して、想像力を養い、話の主題や登場人物の心情に気づくことをねらいとした。聴取後の子ども同士の話し合いでは、自分とは違う意見があることを知り、友達のように気づいて関係性を深めることができた。
			松本 優雅 (札幌市東月寒にれ保育園)	『しぜんとあそぼ』の視聴を通して、身近な自然や生命から多くの不思議を知るとともに、得た知識から芽生える「探求心」を原動力としたより深い観察や制作活動を行った。年長進級後の活動も踏まえて実践した結果、子どもたちは主体的に課題に取り組み解決する楽しさ、やりがいを感じることができた。
7	ICTを活用した学習の視覚化 センター棟 304	小柳 和喜雄 (奈良教育大学)	鈴木 喜仁 (名古屋市立宝小学校)	『スマホ時代の情報モラル教育、小学校のできること』(仮) 学校と家庭との連携のもと、情報モラルの知識を生かし、考え、行動することのできる子どもの育成を図る実践。
			東京都小学校視聴覚教育研究会	「デジタル教科書を用いて学習内容の理解を図る」・「タブレットPCを用いて情報の共有を図る」・「デジタルコンテンツを用いて、情報モラルを学ぶ」の3つの実践発表。
			稲垣 俊介 (東京都立江北高等学校)	ICTのアナライズ機能を活用することで、リアルタイムに生徒の回答を受け取り視覚化し、回答を授業に活かした情報モラル授業の実践報告をする。生徒の回答を教師が知るだけでなく、生徒にも知らせることで他者の意見との類似点や相違点から学ぶ活動をした。
8	デジタル教科書・教材／電子黒板／タブレット端末を活用した授業実践 カルチャー棟 小ホール	運営担当：日本視聴覚教具連合会 日本学校視聴覚教育連盟 (一財)日本視聴覚教育協会	デジタル教科書・教材を活用した授業を実践する教員による実践発表と授業提案を予定。協力：教育出版(株)、大日本図書(株)、東京書籍(株)、日本文教出版(株)、光村図書出版(株)、(株)内田洋行、エブソン販売(株)、シャープビジョンソリューション(株)、バイオニアV C(株)、パナソニックシステムネットワークス(株)	

申し込み方法

原則として、下記のホームページからお申し込みください。

申し込み先URL:<http://www.javea.or.jp/soutai/>

(一般財団法人 日本視聴覚教育協会ホームページ内)

資料代 3,000円

(OB・OG・一般・大学生 1,000円)

◆振り込み先◆ 三井住友銀行 日比谷支店 普通預金 口座番号:8393920
口座名義:視聴覚・放送合同大会(シチョウカク・ホウソウゴウドウタイカイ)

◆申し込み締切◆ 11月4日(金) ※11月11日(金)までにお振込をお願い致します。

申し込みにあたって

- ホームページの例を参考に項目ごとに入力してください。
- 申し込みは必ずお一人ずつ入力をお願いします。
- 振り込み手数料は申し込み者のご負担をお願いします。
- 申し込み後、変更が生じた場合は、電子メール(taikai@javea.or.jp)もしくはFAX(03-3431-2192)でご連絡ください。

参加の留意点

- ワークショップで使用できるタブレット端末の台数には限りがあります。
- 宿泊についての斡旋は行っておりません。ご自身で手配をお願いします。なお、国立オリンピック記念青少年総合センターでは、空きがあれば宿泊予約が可能です。(問い合わせ先) 03-3469-2525
- 国立オリンピック記念青少年総合センターでの昼食は、センター棟2階カフェテリア、またはカルチャー棟2階レストラン等が利用できます。
- 自家用車でのご来場はご遠慮ください。

問い合わせ先

視聴覚教育関係

一般財団法人 日本視聴覚教育協会
〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-10-11 虎ノ門PFビルB1
TEL:03-3431-2186 FAX:03-3431-2192
e-mail: taikai@javea.or.jp

放送教育関係

全国放送教育研究会連盟事務局
〒150-8001 東京都渋谷区神南2-2-1 NHK事業センター内
TEL:03-5455-4310 FAX:03-3481-1372
e-mail: s08601-zenporen@nhk.or.jp

国立オリンピック記念青少年総合センターへのアクセスのご案内



◆交通機関(最寄り駅)

小田急線「参宮橋」駅から徒歩7分
東京メトロ千代田線「代々木公園」駅から
(代々木公園方面出口) 徒歩10分

◆都内主要駅から(路線図)



国立オリンピック記念
青少年総合センター